

阿蘇火山における地球化学的観測*

Geochemical Observation at Aso Volcano

九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター

Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

阿蘇火山では、2003年夏より火山活動が活発化し、2003年7月10日、2004年1月14日、2005年4月14日に、ごく小規模な噴火が確認されている。

九州大学地震火山観測研究センターでは、栃ノ木温泉と垂玉温泉における温泉観測を行ったので報告する。

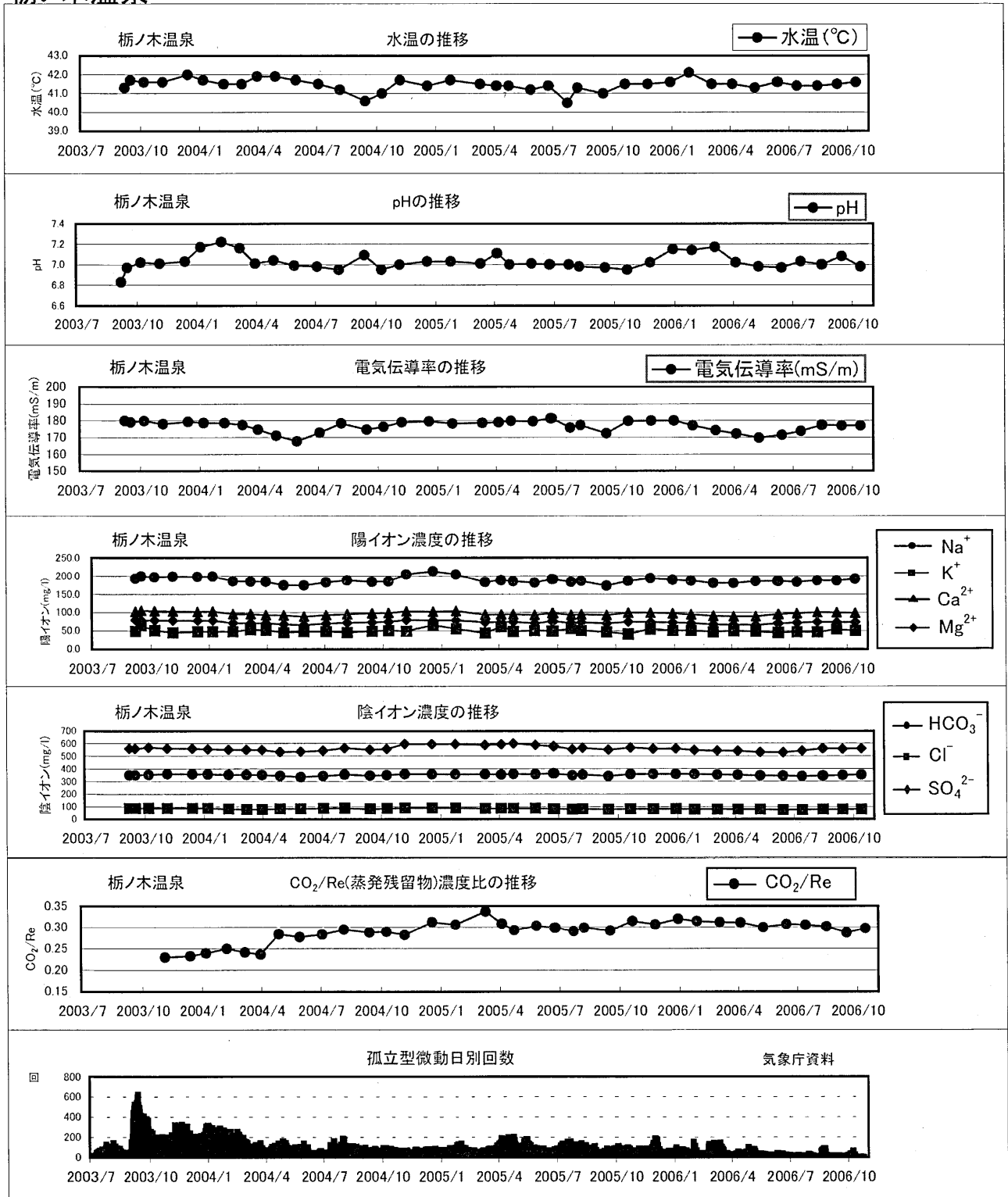
第1図と第2図に栃ノ木温泉と垂玉温泉の2003年9月以降の観測結果を示す。

両温泉の溶存二酸化炭素相対濃度（二酸化炭素濃度／蒸発残留物濃度）は、2004年の夏以降、若干の変動はあるが、高いレベルを維持している。

なお、2006年7月ごろより垂玉温泉の北北西約1.5kmにある吉岡地区で噴気地熱活動が活発になっているが、特にそれに対応した変化は現れていない。

* 2007年1月22日受付

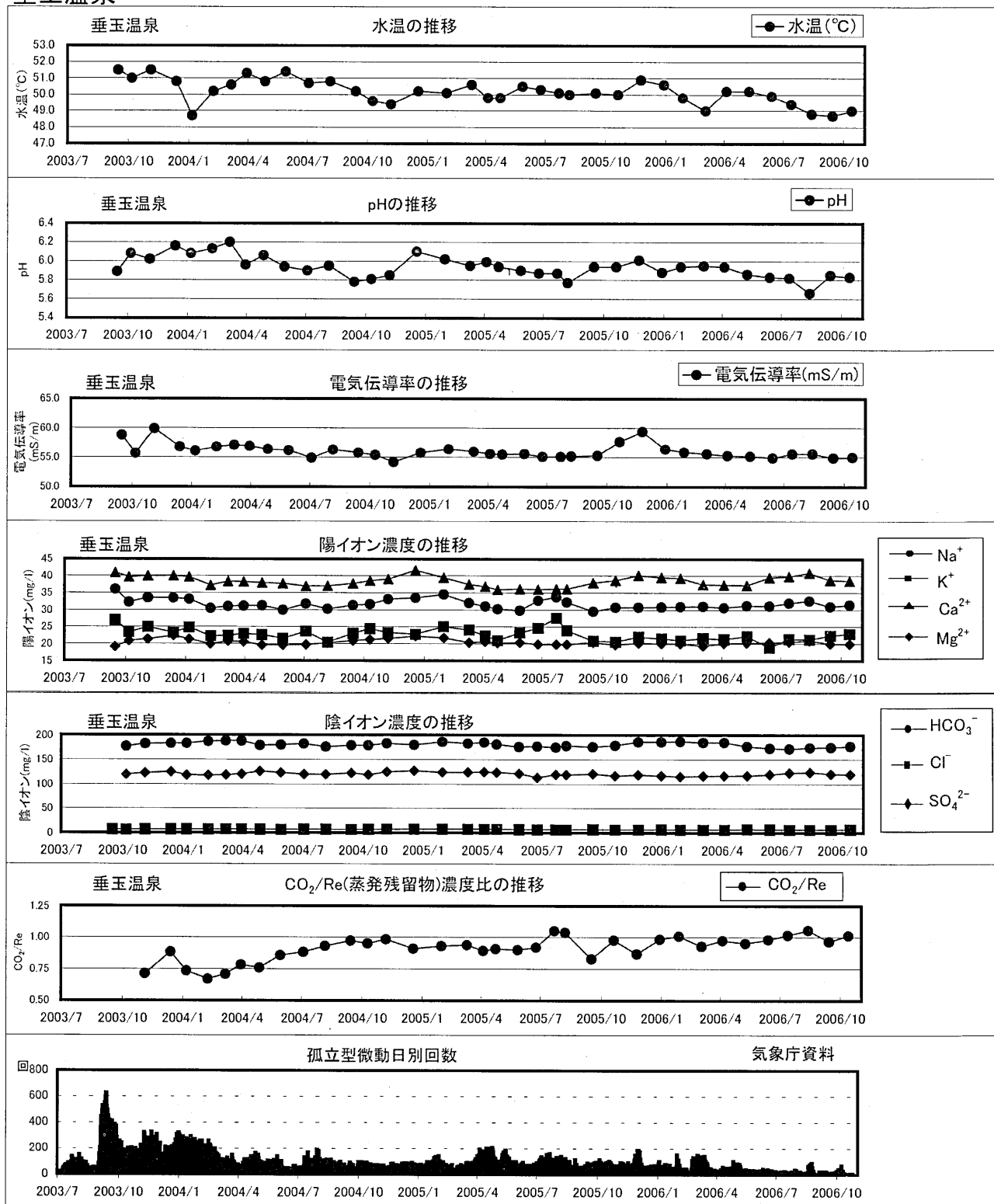
栃ノ木温泉



第 1 図 栃ノ木温泉小山旅館（平湯）の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re(蒸発残留物)濃度比の推移。孤立型微動日別回数は気象庁資料。

Fig. 1 Changes in temperature, pH, electrical conductivity, main chemical component concentration and CO₂/Re (evaporation residue) concentration ratio at Oyama Japanese Inn (Hirayu) of the Tochinoeki hot-spring. Daily number of the isolated tremor is from the JMA.

垂玉温泉



第2図 垂玉温泉山口旅館（本湯）の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re(蒸発残留物)濃度比の推移。孤立型微動日別回数は気象庁資料。

Fig. 2 Changes in temperature, pH, electrical conductivity, main chemical component concentration and CO₂/Re (evaporation residue) concentration ratio at Yamaguchi Japanese Inn (Motoyu) of the Tarutama hot-spring. Daily number of the isolated tremor is from the JMA.